

越前市中央図書館創立100周年記念事業

「図書館ヒストリ～大正から令和まで100年のあゆみ～」

越前市中央図書館は、大正12年（1923）12月23日、山甚産業株式会社の創業者である山本甚三郎氏の寄附により、公共図書館としてオープンして、今年で100年になります。創立100周年を記念して、これまでの図書館の歴史をふりかえる特別企画を、11月から年末まで行います。

特別資料展示

11月3日(祝・金)～12月28日(木) 場所:中央図書館館内

開館時の寄贈本(和本ほか)や貴重な関連資料を展示します。歴代の利用案内や要覧等からは、図書館というものが、時代の流れに沿って、いかに一般市民に開かれたものへと変わっていったかを知ることができます。また、当館100年の歴史を年表にして紹介します。

パネル展示

11月11日(土)～12月28日(木) 場所:中央図書館エントランス

大正12年浪花町(現府中一丁目)での開館以降、数々の改装・移転を経て、平成18年8月1日に現在の越前市中央図書館が開館いたしました。創立当初からの歴代図書館の記録写真をパネルにして、当館100年の歴史を振り返ります。

貴重資料特別展示

12月23日(土) 場所:中央図書館学習支援室

大正12年の開館以降、図書館に寄贈された貴重な資料や、町立図書館(石造り)で使われた棟札や扁額などを、一日限りで特別に展示します。

「読んで、もらおう！」表彰式

12月23日(土) 場所:中央図書館学習支援室

7月から11月までの期間中に、貸出冊数が多かった上位100名に記念品を贈呈します。創立記念日である12月23日に、最も貸出冊数の多かった方1名の表彰式を行います。

※中央図書館と今立図書館で借りた本の合計です。

